

分野連携企画報告書

行事（企画）名

市民フォーラム「New fusion of Mechanical Engineering and Informatics」

行事URL <https://www.nagoya-mipe2022.org/>

1.開催日・会場

2022年8月30日 名古屋大学東山キャンパス 豊田講堂

3.企画内容

JSMEのIIP部門とASMEのISPS部門の合同国際会議MIPE2022の中で、一般公開の市民フォーラムとして開催した。講演は英語とし、対象は大学教員・研究者・学生とした。機械工学と情報工学の連携をテーマとして、幅広い分野で活躍される講師を集め、機械工学の将来について俯瞰することを狙いとした。講演会の後にはパネルディスカッションを開催し、各講師から将来の機械工学に対して期待することについてご意見をいただいた。

4.連携の成果

連携の成果として、当初期待していた以上の幅広い分野から講師を集めることができた。貝原先生（神戸大学）からはSociety 5.0について、西村氏（ZMP Inc.）からは自動運転を中心としたロボット技術について、木村先生（神戸大学）からはマンモグラフィの開発について、竹内先生（東京大学）からはバイオハイブリッドロボットについて、真鍋氏（メディアアーティスト）からはアートにおける工学について紹介いただいた。情報と機械工学について俯瞰的な視野を得ることのできる講演会となった。

2.企画部門

IIP部門，生産システム部門，機素潤滑設計部門，マイクロナノ工学部門，医工学テクノロジー推進会議，（日本トライボロジー学会表面力研究会）

5.今後の課題（苦勞した点，課題点，他の企画へのアドバイス等）

コロナの状況により、ハイブリッドによる講演会とした。ハイブリッドであったため、5名の講師のうち2名の方がオンライン発表であった。著名な方々に講演依頼する際はハイブリッドのほうが了承いただける可能性が広がるため、有効な実施方式であったと考えられる。

MIPE2022および市民フォーラムともにハイブリッドシステムは実行委員会で確立した。様々なテストとリスク要因を洗い出して、最もロバストで予算的にも負担の少ないシステムが構成できた。今後は部門講演会や講習会などでも積極的に利用する予定である。

市民フォーラムであったため、同時通訳を手配した。通訳者はZOOMで参加し、オンライン上で同時通訳をする方式とした。ZOOMにはこのやり方に対応した設定があり、システムとしては比較的やりやすい。ただし、当日の問題として、講師のZOOM上での音声聞き取りにくい、同時通訳と逐次通訳の切替に問題が発生するなど細かいトラブルが発生した。